

「さが市議会だより」

第84号

チャレンジ  
挑戦中

# さが市議会だより



「題字」佐賀北高等学校3年  
村岡 初姫さん  
(裏表紙のコメントもご覧ください)



第24回佐賀城下ひなまつり(令和6年2月10日~3月20日)

## 令和5年11月定例会

- 2 | 補正予算・条例等18議案を可決
- 4 | 常任委員会の審査報告
- 6 | 「市政 ここが聞きたい」  
■一般質問に26名の議員が登壇
- 14 | 佐賀市議会の新しい構成
- 15 | 本会議を傍聴してみませんか?



佐賀市議会HP

# 議案等の審議結果

議案番号	議案名	審議結果	
99	一般会計補正予算(第8号)	補正額 54億3,892万円	
100	国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	補正額 △1,472万円	
101	国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号)	補正額 207万円	
102	職員の給与に関する条例等の改正	全会一致で可決	
103	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の改正		
104	屋外広告物条例の改正		
105	廃棄物の減量推進及び適正処理等に関する条例の改正		
106	国民健康保険税条例の改正		
107	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の改正		
108	公民館職員の給与等に関する条例の改正		
109	脊振共同塵芥処理組合の共同処理する事務及び規約の変更		
110	佐賀駅東自転車駐車場等の指定管理者の指定		特定非営利活動法人佐賀中部障がい者ふくしネット
111	健康運動センターの指定管理者の指定		サガン・ドリームス/健康科学研究所/古賀商事グループ
112	市道路線の認定		川久保中線ほか7路線
113	(仮称)本庄こども園新築(建築)工事請負契約の一部変更		
114	健康運動センター災害復旧工事請負契約の一部変更		
115	財産の取得		
116	一般会計補正予算(第9号)		補正額 25億5,347万円
意見書	屋久島沖での米軍オスプレイ墜落事故に関する意見書		

## 屋久島沖での米軍オスプレイ墜落事故に関する意見書

意見書第4号

屋久島沖での米軍オスプレイ墜落事故に関する意見書

今般、令和5年11月29日に鹿児島県屋久島の沖合において、米空軍横田基地所属のCV-22オスプレイ1機が墜落し、乗員が死亡する重大な事故が発生した。

この事故でお亡くなりになった方の御冥福を心よりお祈り申し上げるとともに、御遺族及び関係者の皆様に対し、哀悼の意を表す。

本市議会としては、オスプレイの運用に際しては、安全性の確保は、特に重要なものと考えている。よって、下記のとおり対応するよう要請する。

記

- 1 今回の事故の経緯を明らかにするとともに、原因究明を行い、再発防止を図ること。
- 2 今回の事故の経緯、原因、再発防止策等に関する情報を速やかに本市に提供すること。
- 3 オスプレイについて、安全対策を徹底するとともに、事故防止に万全の措置を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年12月20日

佐賀市議会

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
外務大臣  
防衛大臣  
宛

# 補正予算・条例等18議案を可決

11月定例会は11月29日に開会し、12月20日に閉会しました。補正予算4件、条例7件、一般7件の計18議案および意見書1件を全て全会一致で可決しました。可決した補正予算の総額は約79億9300万円で、補正後の予算総額は、約1187億3000万円となり、前年度同期に比べ5.8%の増となっています。

## 令和5年度一般会計補正予算

★は新規事業

☆豪雨等災害関連経費

42億1204万円

・7月豪雨および台風6号に係る災害関連経費

☆地方創生移住支援事業

3730万円

・東京圏または県外から佐賀市に移住し、就業、起業等をした者への支援金の交付に要する経費

★農業用施設・設備等被災者

支援事業 1105万円

・7月豪雨等により農業用施設・設備等の被害を受けた農業者に対する補助経費

☆大隈重信記念館改修事業

2518万円

・大隈重信記念館の外壁改修工事に要する経費



大隈重信記念館 (佐賀市水ヶ江)

☆障害児通所支援事業

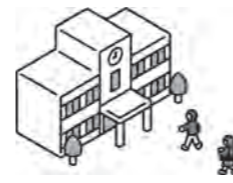
3億5464万円

・障がい児への日常生活の基本的動作の指導、集団生活への適応訓練等を行う通所施設に対する給付経費

☆指導用教科書等購入経費

1億4528万円

・小学校用教科書の全面改訂に伴う電子黒板用デジタル教科書の更新および教師用指導書の購入に要する経費



★住民税非課税世帯生活支援給付金支給事業

20億453万円

・エネルギーや食料品等の物価高騰による家計への影響が特に大きい住民税非課税世帯に對し、経済的負担の軽減を目的とした給付金を支給するための経費

☆プレミアム付電子地域振興券発行事業

2億550万円

・市内における消費需要を喚起し、エネルギーや食料品等の物価高騰に直面する事業者等の支援を行い、消費の支えを通じた地域経済の活性化を図るため、市内登録店で利用できるプレミアム付電子地域振興券を発行するための経費

## 特別委員会の設置

11月定例会で、新たに2つの特別委員会が設置されました。

中核市移行に関する調査特別委員会

【所管事項】

中核市移行に関する諸種調査



九州新幹線整備に関する調査特別委員会

【所管事項】

九州新幹線西九州ルート of 整備に関する諸種調査



一特別委員会とは一

特定の事件、重要な問題の審査など、議会が特に必要と認めるとき、その案件ごとに設置する委員会です。

※議会構成は、14ページをご覧ください。

条例等の主なもの

国民健康保険条例の改正

・地方税法等の一部改正に伴い、出産する被保険者に係る産前産後期間における国民健康保険税の軽減措置を導入するもの

職員給与に関する条例等の改正

・人事院等の勧告に鑑み、職員等の給与を改定するもの



# 常任委員会の審査報告



誰もが電子券を購入しやすくなるよう、十分なデジタルデバイス対策を！

※1 デジタルデバイス…情報通信技術を使える人と使えない人との間に生じる格差

**補** 商業政策事業  
〔質問〕 デジタルデバイス対策とし

〔質問〕 本年7月豪雨等による農作物の被害件数は、833件を把握とのことだが、そのうち何件が補助の対象となるのか。  
〔答弁〕 今回の予算では、営農再開・草勢樹勢回復等被害対策事業2577件、農業用施設・設備等被災者支援事業29件が対象。  
〔意見〕 災害が増加する中、農業者への支援を厚くしないと、被災で離農者が出ると思われる。離農への対策として、市独自でも予算措置の検討を。

**補** 農業振興事業  
**経済産業委員会**

常任委員会では、本会議から付託された議案や請願などについて詳しく審査を行っています。11月定例会の審査内容を紹介します。

## 総務委員会

**補** 定住促進事業

〔説明〕 移住・定住の促進と中小企業等の人材不足解消を目的に、本市への移住者に支援金を交付する事業として行っている。東京圏からの移住を図る国の制度と東京圏以外からの移住を図る県の制度の2種類あり、市の負担は事業費の4分の1である。

〔質問〕 事業の実績はどうか。  
〔答弁〕 令和4年度の実績は14世帯、29人である。今年度は9月末の時点で11世帯25人が移住しており、今年度全体では64世帯、130人の移住を見込んでいる。  
〔質問〕 下半期の申請を多く見込んで補正予算を提出しているが、この



佐賀市へようこそ

理由はなにか。  
〔答弁〕 県の制度への申請が多く、現在予算不足で申請の受付を止めている。相談・問い合わせも多く、今後も申請が増えると思込まれるため。

**補** SAGA2024佐賀市実行委員会負担金

〔質問〕 経費の内訳の大半がローイング（ボート競技関連）となっているのはなぜか。  
〔答弁〕 競技会場であるしゃくなげ湖は、出水期等の水位変動に対応する仮設物の設置が必要になるなど、運営経費が高くなるため。

〔審査結果〕 全ての議案について、可決すべきものと決定。

### 委員会で審査した議案

- 一般会計補正予算（第8号）（所管分）
- 職員の給与に関する条例等の改正
- 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の改正
- 公民館職員の給与等に関する条例の改正

その他3件

### 委員会で審査した議案

- 一般会計補正予算（第8号）（所管分）
  - ▶大隈重信記念館事業
  - ▶農業振興事業
  - ▶農地・農業用施設災害復旧事業 ほか
- 一般会計補正予算（第9号）（所管分）
  - ▶商業政策事業 ほか

て、プレミアム付電子地域振興券の利用方法の動画等をSNSで広く周知することも必要では。  
〔答弁〕 対面型の相談窓口の設置と併せ、そこに行かなくても操作できるように、操作方法の動画等を準備し、SNSで広く周知したい。  
〔意見〕 情報技術に不慣れな方への対応をもっと工夫してほしい。  
〔質問〕 システム開発費が不要なら、運用については入札する方が委託費は下がるのでは。  
〔答弁〕 金額面のみでなく、利用者側の操作や事業者側の対応なども留意すべきであり、その点にも配慮しながら検討していく。

〔審査結果〕 全ての議案について、可決すべきものと決定。

## 福祉教育委員会

国民健康保険税条例の改正

〔説明〕 出産する被保険者の所得割保険税および均等割保険税を免除する規定を追加するもの。

〔質問〕 免除申請はいつまでに行えばいいのかわかるか。  
〔答弁〕 出産予定日の6カ月前から申請可能。申請が遅れ、すでに保険税を納付済みの場合でも、還付という形で遡って対応できる。

〔例〕4月出産 【単胎の場合】						
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
		免除	免除	免除	免除	
出産予定日の属する月						
〔例〕4月出産 【多胎の場合】						
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
免除	免除	免除	免除	免除	免除	
出産予定日の属する月						

（参考）保険税免除月について

〔説明〕 工事請負契約における、工期の延長と契約金額の増額を行うもの。

〔仮称〕本庄こども園新築（建築）工事請負契約の一部変更について

### 委員会で審査した議案

- 一般会計補正予算（第8号）（所管分）
- 国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 国民健康保険診療所特別会計補正予算（第2号）
- 佐賀市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の改正

その他3件

〔質問〕 令和6年4月1日の開園に影響はないのか。  
〔答弁〕 予定どおり、4月1日には開園できる見込みである。  
〔質問〕 玄関ドアの自動化や、園舎への地下ピットの増設が必要と判断した理由は何か。設計の時点で判断できなかったのか。  
〔答弁〕 自動ドアは、園児の安全性や防犯対策等を目的としている。また、地下ピットについては、将来の維持管理が容易になると判断をした。両方とも実施設計の段階で考慮しておくべき内容だったと考えている。

〔審査結果〕 全ての議案について、可決すべきものと決定。

## 建設環境委員会

屋外広告物条例の改正

〔内容〕 民間活力の活用など公共施設の柔軟な管理運営方法に対応するため、官公署等について、屋外広告物の表示等に係る制限を見直すもの。

財産の取得

〔説明〕 嘉瀬地区多目的広場整備事業に係る用地6725㎡を取得するもの。

〔質問〕 平米当たりの単価は。  
〔答弁〕 6400円である。

〔内容〕 廃棄物の減量推進及び適正処理等に関する条例の改正

〔内容〕 粗大ごみの処理手数料を、

粗大ごみの処理（ステッカー方式）は、令和6年6月1日以降の予約分から手数料や申込支払方法が変わります。

〔現行〕 一律500円。申込と支払は金融機関でのみ可能  
〔変更後〕 重さ、形、処理の困難性等により、段階的に手数料を設定。電話、インターネットによる予約受付システムを導入し、オンライン決済にも対応。

品目	単価
平均的な重量が30kg以下のもの、または長辺が1.2m以下のもの	500円
平均的な重量が30kgを超え60kg以下のもの、または長辺が1.2mを超えるもの	1,000円
平均的な重量が60kgを超えるもの、または処理が困難なもの	1,500円

### 委員会で審査した議案

- 一般会計補正予算（第8号）（所管分）
  - ▶急傾斜地崩壊防止事業
  - ▶災害関連地域防災がけ崩れ対策事業
  - ▶公共土木施設災害復旧事業 ほか
- 脊振共同塵芥処理組合の共同処理する事務及び規約の変更
- 市道路線の認定

その他4件

〔説明〕 佐賀市営自転車駐車場の指定管理者をNPO法人に指定するもの。  
〔質問〕 雇用されている障がいのある方について、賃金の格差を市は把握しているか。  
〔答弁〕 賃金は清掃や料金徴収など、職務内容によって設定されている。  
〔意見〕 賃金に関して公平さが保たれるよう、市がしっかりとチェックしてほしい。

〔審査結果〕 全ての議案について、可決すべきものと決定。



# 教員欠員の根本問題の解決を!!



自発的勤務? これって仕事じゃないんですか?  
お母さん、まだ休まないの?

**問** ①国民の考え方や価値観が多様化する中、魅力的な仕事ではあるが多忙で時間外勤務が多く保護者対応が大変というイメージがあり、人が集まりにくくなっていると考える。②特別支援教育に対する理解が深まり、子どもの特性に応じた学びへの思いが尊重されるようになったこと③ICTの活用により子どもと触れ合う時間を生み出すことや、教職員が互いに得意分野のアドバイスや手助けを行い、相談ができるような職場環境を作っていくことが重要。

(ネットワーク佐賀) まつなが 松永 けんめい 憲明



1

**問** 年度当初から20名以上の教員の欠員が続き、補充ができていないなかで①教員の仕事に特に魅力的であると感ぜられなかった根本的原因は②特別支援学級の人数が増え学級増となっている要因は何か③協力共同の職場体制を含めた働き方改革をどう進めるか。



# 立地適正化計画!なぜ、今策定



立地適正化計画の概要

**問** 佐賀市は、合併時の新市建設計画や中心市街地活性化計画等、都市政策計画を全国に先駆けて施行してきた。令和6年度計画予定の立地適正化計画は、都市再生特別措置法の改正で9年前から各自治体を取り組んでいる。なぜ、今まで計画がなされなかったのか。

**答** 立地適正化計画は市街化区域内に居住誘導区域と都市機能誘導区域を設定し、居住や民間施設の立地を緩やかに誘導し、市街地の空洞化を抑制するもの。本市の市街化区域は佐賀駅を中心に4、5、6、7の区域と諸富、大和の一部のみで全国的にもコンパクトな市街地で形成され、すぐに計画策定をという状況ではなかったが、人口減少、高齢化の進行により将来にわたり持続可能でコンパクトなまちづくりが求められるようになったため、令和4年度から策定に向け取り組んでいる。

(自民さが) えがしら 江頭 ひろみ 弘美



2

**問** 佐賀市は、合併時の新市建設計画や中心市街地活性化計画等、都市政策計画を全国に先駆けて施行してきた。令和6年度計画予定の立地適正化計画は、都市再生特別措置法の改正で9年前から各自治体を取り組んでいる。なぜ、今まで計画がなされなかったのか。



# デジタル地域通貨の導入はあるのか



がばいサカエー Pay スマートフォンアプリ

**問** ①デジタルを活用し経済の活性化を目的とした本市の取り組みは②がばいサカエー Pay が与えた経済効果は③デジタルを活用したコミュニティ強化の取り組みは④デジタル地域通貨の導入は今後考えられるものなのか。

**答** ①がばいサカエー Pay は地域振興券発行事業を実施。今後はキャッシュレス決済ポイント還元事業を実施予定②コロナ禍による来客数や売上の減少の抑止に一定の効果があったと認識③佐賀市公式スーパーアプリに搭載の「とびつくタウン」において、校区で開催されるイベント情報などを配信。今後、利用者がデジタルマップに地域のイベント等を入力したり、ボランティア活動への参加ポイントが付与される機能追加を検討中④先進事例の情報収集し、調査研究を進めたい。

(ネットワーク佐賀) ふじた 藤田 よしのり 佳典



3

**問** ①デジタルを活用し経済の活性化を目的とした本市の取り組みは②がばいサカエー Pay が与えた経済効果は③デジタルを活用したコミュニティ強化の取り組みは④デジタル地域通貨の導入は今後考えられるものなのか。



# 子どもに応じた多様な学びの受皿を



すべての子どもたちに学びの機会をつくるために

**問** 国は今年3月、不登校により学びの場を確保できない子どもたちをゼロにすることを目指し、COCOLOプランを発表した。①佐賀市の現在の取り組みとの関連は②市として不登校対策の基本指針を明確に定めるべきでは③不登校特別校設置の検討は。

**答** ①COCOLOプランの3つの目指す姿を念頭に置き、不登校対策の取り組みを充実させる必要がある。本市の取り組みでは、別室登校支援、教育支援センターの設置、学校でのアンケート実施、保護者との意見交換、学校評価を活用した学校づくりなどがある②不登校対策の取り組みを明らかにすることは大切。今後は対策の全体像が誰にでも分かるリーフレットを作成したい③現在、さまざまな形で教育を受ける場を提供している。不登校特別校についても研究したい。

(公明党) むらおか 村岡 たかし 卓



4

**問** 国は今年3月、不登校により学びの場を確保できない子どもたちをゼロにすることを目指し、COCOLOプランを発表した。①佐賀市の現在の取り組みとの関連は②市として不登校対策の基本指針を明確に定めるべきでは③不登校特別校設置の検討は。



1	松永 憲明 (ネットワーク佐賀)	◎教員の欠員状況の根本的問題とその解決について ▶ 8名超の特別支援学級編制の在り方について ▶ 部活動の地域移行への取組について
2	江頭 弘美 (自民さが)	◎立地適正化計画について
3	藤田 佳典 (ネットワーク佐賀)	◎デジタル地域通貨について ▶ 佐賀市を舞台とした映画制作における市の対応について
4	村岡 卓 (公明党)	▶ 災害後の対応について ◎不登校対策について
5	永淵 史孝 (自民政進会)	▶ 地域と学校の協働活動について ◎デザインマンホールについて ▶ コミュニティカフェについて
6	山田 誠一郎 (ネットワーク佐賀)	取り下げ
7	堤 正之 (自民政進会)	◎佐賀唐津道路の整備促進について ▶ 新教育長の方針を問う
8	嘉村 弘和 (自民政進会)	◎コンパクトシティに向けた取組について ▶ 交通局舎建て替えについて
9	西岡 真一 (自民清流)	◎学校給食におけるアレルギー対応について ▶ 人口減少問題について ▶ 立地適正化計画について
10	千綿 正明 (自民さが)	▶ 防災対策について ▶ L G B T 理解増進法に対する佐賀市の対応について ▶ D X の推進体制について ▶ 外国人の年金の脱退一時金について ◎小学生の送迎の問題について
11	野中 宣明 (公明党)	◎佐賀市南部地域のまちづくりについて ▶ 中学校の部活動について
12	諸富 八千代 (自民政進会)	▶ 新教育長に問う ▶ 部活動の地域移行について ◎生理の貧困について
13	中野 茂康 (緑補自民)	◎2023佐賀国際バルーンフェスタについて ▶ 農業振興について ▶ 漁業振興について
14	川崎 健二 (自民さが)	◎佐賀市の学校教育の現状と課題を問う ▶ 佐賀駅周辺の駐車場、駐輪場について

15	稲葉 嵩広 (自民さが)	▶ 市が管理する道路の維持・修繕について ◎市職員の人材育成について
16	中島 妙子 (公明党)	◎人と犬や猫などの動物が共生する社会について ▶ 带状疱疹ワクチンについて
17	福井 章司 (自民政進会)	◎G I G A スクールについて ▶ 松原公園整備について ▶ カラス対策について
18	江口 善己 (ネットワーク佐賀)	◎道路行政について ▶ 市の花「サクラ」について
19	富永 明美 (ネットワーク佐賀)	◎子どもの医療費助成制度の拡充について ▶ 老人福祉センターについて ▶ 大谷翔平選手からのグローブ寄贈について
20	山下 明子 (市民共同)	◎佐賀空港への自衛隊・オスプレイ配備計画について、市長の見解を問う ▶ 子どもの権利条約制定を~子どもを主体とした条例についての市の認識を問う▶ 加齢性難聴者の補聴器購入への助成を▶ 原子力防災訓練を踏まえ、原子力災害時の対応について
21	重松 徹 (自民清流)	◎水道料金の格差是正について ▶ 年取の壁の問題について
22	中村 宏志 (公明党)	◎市有地や公園・広場等の利活用について
23	御厨 洋行 (自民清流)	◎神野公園再整備計画について ▶ 佐賀国際バルーンフェスタについて ▶ シティプロモーションについて
24	宮崎 健 (自民さが)	◎公共交通の在り方について ▶ S A G A タバスケについて
25	平原 嘉徳 (自民清流)	◎本市の人口減少の状況とその対応について ▶ 保育行政について ▶ 市長の政治姿勢について
26	川副 龍之介 (自民さが)	◎中小企業・小規模事業所への支援について ▶ 子育て支援について
27	黒田 利人 (緑補自民)	◎島義勇公の功績をたたえる施策について ▶ 丹宗新教育長に問う

議員名の番号は、質問順、( )内は党派名、掲載は大項目のみです。◎がついている項目は、次ページ以降に質問と答弁の概要を掲載しています。

## 小学生の送迎の問題について



通学路の安全確保  
(写真はイメージ)

問 ①児童の通学は特別な事情がある場合を除いて、原則徒歩となっている。交通渋滞や近隣の施設への駐車についての相談電話もあり、折に触れて、学校だよりや学校メール等により車で送迎しないよう保護者に伝えている。また、校長会等で通学は原則徒歩であることを保護者に伝えるよう依頼したい②公民館の駐車場は、関係のない方の利用は原則できない。今後、看板の設置等により注意喚起するなど対策を講じていきたい。

(自民さが) ちわた まさあき 千綿 正明 10

問 近頃、小学生の車での送迎に係る交通渋滞や隣接する公民館への駐車により本来の公民館利用者が駐車場を利用できない状況が見受けられるが①どのように対策しているのか②公民館に利用者以外の車を禁止している旨の看板等を設置すべきではないか。

## 佐賀空港を生かしたまちづくりへ！



「九州の人流・物流の拠点化」を目指す佐賀空港

問 佐賀空港においては「アジアをターゲットとした九州の人流・物流の拠点化」を目指していることを県が示されようとしている。空港立地自治体である佐賀市は、この「佐賀空港がめざす将来像」を今後の市南部地域のまちづくりにどう生かしていくのか。

(公明党) のぶあき 野中 宣明 11

問 佐賀空港の滑走路延長は、既存路線の増便等により人やモノの交流が拡大し、地域の発展に大きな効果が期待され、本市もさまざまな効果を生かしながら観光客誘致、地場産品の市場開拓や販路拡大等に取り組む必要がある。そこで市南部地域の物流拠点構想は、拠点設置による地域経済活性化の可能性を調査研究し、本構想の策定に向けて着実に検討を進めたい。取扱貨物は、農産品、水産品、半導体等を含め、南部地域の持つポテンシャルを活用し、その可能性を幅広く検討する。

## 生理の貧困対策の先に目指す社会は



本庁1階トイレに引換カード。生理用品の設置を！

問 生理の貧困対策は、世界的な傾向としてジェンダー平等の実現へと進んでいる。昨年の一般質問で、小中モデル校での生理用品設置、公共施設で引換券の設置拡大を検討するとの答弁があったが、その後の対応は。また、市が目指すジェンダー平等の社会とは。

(自民政進会) もろとみ やちよ 諸富 八千代 12

問 令和4年5月から小中各2校をモデル校とし生理用品の設置を開始した。児童・生徒へのアンケート結果を受け全ての市立小・中学校で設置するよう努め、今年11月末現在で設置率は約70%である。引換券は令和5年3月から8カ所に設置し、今年11月末現在で297個を配布した。今後、生理用品の常設を念頭に前向きに検討する。

## バルーン大会の反省と取り組みは



離着陸時には国内外の選手と地元住民の交流が生まれます

問 今年の佐賀インターナショナルバルーンフェスタは、海外選手が4年ぶりに参加し、コロナ禍前の国際色豊かな光景が戻った。①交通渋滞で競技開始が5分遅れたが、その原因と反省点は②将来にわたり大会を支えていくためのバルーンニストの後継者対策は。

(緑梅自民) なかの しげやす 中野 茂康 13

問 今年の佐賀インターナショナルバルーンフェスタは、海外選手が4年ぶりに参加し、コロナ禍前の国際色豊かな光景が戻った。①交通渋滞で競技開始が5分遅れたが、その原因と反省点は②将来にわたり大会を支えていくためのバルーンニストの後継者対策は。

## デザインマンホール事業 今後を聞く



サンライズストリートのデザインマンホール

問 ①小学校と協力してオリジナルマンホール蓋の作成や、マンホールカードを活用した合格祈願グッズなどを検討中②議員提案のマンホール総選挙などの魅力的なアイデアを参考としたい③民間企業からは商品開発等について問い合わせがあつている。プロスポーツチームからも相談があれば積極的に関わっていききたい④まずは来年のサミットに参加し、開催の可能性を探りたい⑤本市を盛り上げるためのひとつの手段と捉え、開催については様々な可能性を検討していきたい。

(自民政進会) ながふち ふみたか 永瀧 史孝 5

問 ①デザインマンホール事業についての現在の進捗状況②上下水道フェアでの今後のマンホールPR策とは③プロスポーツチームのデザインマンホール制作はできるのか④マンホールサミットの誘致について⑤市長のマンホールサミット誘致の考えは。

## 高規格佐賀唐津道路の整備促進を！



多佐賀道路の計画図  
(国土事務所資料より転載)

問 ①佐賀唐津道路の工事の進捗状況は②東多久町から三日町までの多佐賀道路Ⅰ期工事計画の現状は③三日町から国道34号までのⅡ期工事の現状は④このⅡ期工事区間は、事業主体さえ未決定である。国・県に對し事業促進の提案活動を一層強化すべきでは。

(自民政進会) つつみ まさゆき 堤 正之 7

問 ①厳木多久有料道路と厳木バイパスは既に供用中。そこから唐津方面の約10kmはまだ事業化されていない。多久佐賀道路Ⅰ期は国の事業として調査設計に着手され、多久佐賀道路Ⅱ期は県で都市計画決定されたが、事業化はされていない。佐賀道路は県用地買収や工事が進められている②現在、地質調査中。その結果を基に構造的な検討が行われる予定③事業主体が決まっていない④佐賀唐津道路多久・佐賀間整備促進期成会で毎年要望活動を実施しており、今後も行っていく。

## コンパクトシティの形成に向けて！



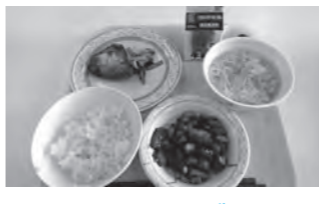
効率的で持続可能な都市へ

問 「市街化区域、市街化調整区域を設定している自治体」に隣接している「市街化区域」等を設定していない自治体」では住宅開発が進む事例がある。本市の50戸連櫓制度を見直した場合は、近隣自治体への人口流出にならかねないため、都市計画の広域連携は必要である。広域的視点でのコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりが重要であり、県や近隣自治体と広域化について模索していきたい。

(自民政進会) かむら ひろかず 嘉村 弘和 8

問 コンパクトシティの実現に向けた立地適正化計画の取り組みで、50戸連櫓制度の見直しが必要になれば、人口の市外流出が考えられるので、佐賀市だけでなく周辺自治体を含めた都市圏の発想で広域的土地利用政策が必要。周辺自治体との協議の考えは。

## 食物アレルギーの積極的な改善を



給食の食物アレルギー改善のために (写真はイメージ)

問 学校給食の現場では安全のために、事前に食物アレルギーの状況をしっかりと個別に把握し、情報共有して対応していることは理解しているが、例えばアレルギーに関する最新の知見や情報を保護者と共有し、積極的に改善につなげるような施策は考えられないか。

(自民清流) にしおか しんいち 西岡 真一 9

問 食物アレルギーは児童や生徒の生命に関わる重大な問題であるため、アレルギーを有する児童や生徒への給食の提供に際して、個別に対応を行っている。食物アレルギーそのものの改善は難しいため、医師の診断内容や児童・生徒の体調等について保護者と情報共有し、除去食や代替食等の対応により、今後一人でも多くの児童や生徒が友達と一緒に楽しく給食を食べられる環境づくりに努めていきたい。

## 通学路の歩道整備の早期完了を！



学校付近の歩道の幅は、約1メートル

**問** 国道444号の南川副小学校南側の歩道は、合併前の川副町で最優先の整備箇所とされていた。しかし工事の進捗は遅れており、今年度中の完了は難しい状況である①工事の進捗状況は②整備の延長と歩道幅は③工事完了の時期は。

**答** 指摘の歩道は合併前の最優先箇所、小学校からも拡幅が要望されていることは承知しているが、国道444号を整備している県に確認したところ①事業用地の取得は完了し、現在工事の準備中である②延長は約58・5メートルあり、幅員は現況の約1メートルから約2・2メートルに拡幅する計画である③本年10月に工事の入札不調があり、現在、再入札の手続を行っており、令和6年夏頃の工事完了を目指したいとのこと。

## 「子どもの医療費助成」の拡充を！



高校生も安心して医療を受けられる体制に

**問** 本市では現在、中学生までとなっている子どもの医療費助成制度。高校生年代は、思春期特有の疾病や怪我で医療機関を利用する人も少なくない。また、何かとお金がかかる年代でもある。全国的にも拡充傾向にあり、本市でも高校生年代までの拡充ができないか。

**答** 高校生年代まで拡充した場合、毎年約1億2千万円が必要と試算しており、継続した財政負担が見込まれるため慎重な判断が必要。近隣県では、県の補助拡大が市町村の助成対象を拡大する契機になったと聞く。佐賀県に対し小学生以上の補助拡大を要請しており、その拡大が高校生年代までの助成対象拡大につながるかと考える。保護者にとつては受診しやすい環境や経済的な負担軽減につながることから補助拡大は期待が大きいと認識しており、引き続き県に強く要望する。

## オスプレイ事故の市民説明会を



目達原駐屯地で説明を受けた時、屋久島沖では墜落事故が

**問** 11月末、屋久島沖で米空軍CV22オスプレイが墜落し乗員8名全員が死亡する重大事故を起こした。市長の駐屯地受け入れ表明後も、死亡事故や陸自機の緊急着陸などが続いている。受け入れを判断した市長の責任で、防衛省を呼んで市民説明会を開くべきではないか。

**答** オスプレイの運用は、防衛省が責任を持って最大の安全対策を行い、安全性を確保する必要があると認識している。防衛省からは、今回の事故を受けた地元への懸念の声を真摯に受け止め、不断に情報収集を行い、得られた情報を基に適切に情報提供を行う旨の説明を受けており、市として、まずはオスプレイの安全対策を徹底するとともに、情報を速やかに提供することを求め、得られた情報を適切に公開していきたい。

## 東与賀町・川副町の水道料金格差是正

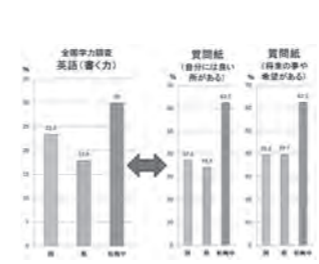


毎日使う水道は公平公正な料金設定に！

**問** 佐賀市と川副町、東与賀町は、水道料金にまだ格差がある。川副町、東与賀町も佐賀市なので、水道供給は佐賀市上下水道局が行ってほしい。現在工事中の佐賀駐屯地(仮称)完成までには水道料金の格差をなくすべきであると思うが市長の見解は。

**答** 川副町、東与賀町における水道料金の不均衡は、佐賀市上下水道局と佐賀東部水道企業団という異なる水道事業体の給水区域や料金設定の相違に起因するものである。これまで、基本料金の統一や補助による対策に取り組んできた。今後とも、社会情勢の変化や人口動態等も見据えながら、佐賀東部水道企業団との連携も含め、不均衡を是正するためのあらゆる可能性を検討し、より良い水道事業を展開できるように取り組みを進めたい。

## 佐賀市学校教育の現状と課題を問う



成果を上げている学校を研究し、積極的に共有・活用を

**問** ①総合計画の学校教育に係る成果指標を評価可能な内容にすべきでは②全国学力・学習状況調査の各学校の成果を研究し活用すべきでは③調査結果をもっと早く公表すべきでは④学力向上のために市が実施している研究・研修は⑤ホームページは速やかに更新を。

**答** ①全国学力・学習状況調査の項目を成果指標とすることでの利点はある。成果指標に適したデータがあれば積極的に活用したい②よい結果の学校の取り組みを他校と情報共有し学力向上につなげたい③業務負担を考慮しつつ分析結果も早く公表するよう検討する④ICT機器活用での指導力向上や全国学力・学習状況調査の結果の分析による授業実践の研究、学力向上や特別支援教育に関する研修など⑤更新が滞っているものなど、内容を確認し、速やかに更新やコンテンツの見直しを行う。

## 困難な時代に対応する職員の育成を



複雑な課題解決には多様な経験が重要 (写真はイメージ)

**問** 複雑化・多様化する行政課題を解決するには職員的能力を最大限引き出すことが重要である。そのためには職員が多様な経験を積むことができる他組織への派遣研修が有効だ。その中でも民間企業への派遣研修が有効だと考えるが本市の見解は。

**答** 行政課題に柔軟かつ的確に対応するための能力を育成するために、JR九州、百貨店、報道機関、旅行会社などの民間企業への派遣研修を行っているが、SAGA2024国スポ・全障スポに向けた人員の確保などのため、令和元年度を最後に実施していない。民間企業での実務を経験することで新たな視点や知識を身につけ、行政の様々な課題に対応することが出来る職員を育成することは本市の施策の推進にとって重要であるため、再開に向けて検討していきたい。

## 人と犬猫等の動物が共生するために



ずっと愛情を持って飼いましょう！ (写真はイメージ)

**問** ①飼い主へのマナー周知と市民への動物愛護の啓発を工夫すべきでは②夜間の動物病院が欲しいとの声があるが③地域猫活動者の毎日の餌代の負担も大きい。新たに餌代などの補助ができないか④補助をしている自治体の状況を調査することかできないか。

**答** ①毎年行っている環境パネル展の際に、動物愛護や適正飼育の啓発について市民の目を引くよう工夫し実施したい②現在、夜間診療はされていないが、県獣医師会との意見交換の際、夜間の診療について話をしたい③新たに地域猫活動を行う自治会もあり事業費増が見込まれる。餌代への補助は現時点では困難だが、費用負担軽減のため捕獲機貸出は継続したい④餌代等を補助する自治体の調査は可能。地域猫活動は1割弱の自治会しか実施しておらず、まずは取り組む自治会を増やしたい。

## 一人一台の学習用端末活用を急げ!!



学校にある一人一台の学習用端末。もっと活用しよう！

**問** 市内の小・中学校に一人一台配置の学習用端末について①なぜ活用が遅れているのか②故障等での修理費用の市負担額は③教師向け研修の内容は④この研修は全市的に行うべきでは⑤不登校児童・生徒への活用は大丈夫なのか⑥校務改善等に今後活用できないか。

**答** ①教員の習熟に課題があると考える②令和4年度は約1300万円である③実際の使用場面を想定した研修内容であり、教員間の意見交換も行われた④各学校の教育情報化推進リーダーを対象に研修を行っている⑤懸念される事項はあるが、全ての子どもへの学びの機会を確保し、不登校対策にも積極的に取り組むたい⑥現在もさまざまな教育活動や校務に役立てている。今後さらに業務改善を進めるため、新たな校務支援ソフトの導入を検討している。

## 中小企業・小規模事業所への支援



地域を支えるさまざまな業種

**問** 中小企業等は地域経済を支える重要な存在である。①佐賀市中小企業・小規模企業振興条例施行後の施策について②中小企業等の今後の事業展開をどのように把握しているのか③中小企業等における経営の強化について佐賀市の取り組み方針を示せ。

**答** ①施行後物価上昇等の影響を受けている事業者や住民生活を支援するための緊急的な施策を中心に取り組んできた②業務改善によるコスト削減、販路拡大による売上増加、それらを推進する社内人材の育成が重要視される傾向で、企業の稼ぐ力の強化が重要③業務改善・効率化に向けてデジタル化やDX推進の実効性を高めるため、企業を直接訪問し経営課題の整理から丁寧な伴走支援する予定。地産地消の推進に向けたマッチング等、総合的な推進で活力ある中小企業の振興を図る。

(自民さが) かわぞえ りゅうの すけ  
川副 龍之介 26

## 市有地や公園・広場等の利活用を



造成後 29 年程が経過。「しずか池と樹林地と多目的広場」

**問** ①造成後 29 年程経つ久泉工業団地内の公園は利用者が少ない。売却を検討しては②市有の公園や広場における熱中症対策は③久泉工業団地内公園の活用についての相談は④駐車場付きのしずか池公園について、官民連携等の民間の力による活用はどうか。

**答** ①工場立地法上、一定面積の公園、緑地の整備が必要で、公園の用途を廃止し、売却することは困難である②木陰を意識した公園整備を実施していく③スケートボードやグラウンドゴルフの練習場としての利用について、地元住民から相談があった。それぞれ利用は可能とした④公園の利活用については、公園利用に支障がなく、公園の利便性向上につながれば問題ない。民間による公園内施設等の設置は、行政財産の目的外使用となるが、利活用の相談があれば、内容を伺いながら対応する。

(公明党) なかむら ひろし  
中村 宏志 22

## 島義勇没後 150 年記念事業を



城内西公園に建つ島義勇公

**問** 来年度は、島義勇公没後 150 年の節目にあたる。その功績は顕著で、北海道の開拓使判官として札幌市の都市計画の基礎を作る等、多くの事業を成し遂げた偉人である。功績を顕彰する記念行事の開催や札幌市との交流事業が必要と考えるが、市の見解は。

**答** 島義勇をはじめとする佐賀出身の偉人を広く知ってもらう機会をつくることは大切である。県において島義勇をテーマにした顕彰事業が検討されているとのことであり、札幌市や県と情報共有しながら、役割を踏まえて顕彰できればと考えている。交流事業については、他の事例等を参考にしながら具体的な内容を検討したい。

(緑楠自民) くろだ としと  
黒田 利人 27

## 神野公園の未来について考えよう！



佐賀市の人気レジャー施設 神野公園・こどもゆうえんち

**問** ①駐車場を集約し収容台数を増やすべきではないか②広場や駐車場の確保、子どもの安全のためトンボ池は廃止すべきではないか③犬の水飲み場やリードフックなど犬連れで散歩し易い環境整備を求めるが④園路整備を求めるが⑤防災機能の充実を求めるがどうか。

**答** ①再整備計画はまだ議論の過程の段階。駐車場の問題は、再整備検討委員会の中で検討を進めていきたい②トンボ池は存続する方向。学びの体験のほかに、新しい楽しみ方を提供できないか検討が進められている③犬の散歩に特化した整備はまだ検討していないが、利用者が尊重し合い、共存できる空間にしていきたい④限られたスペースや利用者の安全確保の面も踏まえ、考えていきたい⑤防災関連施設整備については、再整備検討委員会内の意見を聞きながら検討していきたい。

(自民清流) みくりにや ひろゆき  
御厨 洋行 23

### 視察報告

#### 福祉教育委員会

視察者 9 名 (村岡、西岡真一、川崎、諸富、川副、松永憲明、重田、福井、山下)

令和 5 年 7 月 18 日 (火)

長野県長野市

◎ 学校部活動の地域移行に関する先進的な取り組みについて

指導者や活動場所の確保等、地域移行に際して検討を要する事項について幅広く調査を行い、地域移行に向けた課題について理解を深めた。

視察の様子

### 視察報告

#### 議会運営委員会

視察者 10 名 (山口、松永憲明、西岡真一、村岡、山田、宮崎、松永幹哉、重松、江頭、川原田)

令和 5 年 10 月 5 日 (木)

愛知県豊田市

令和 5 年 10 月 6 日 (金)

三重県津市

◎ 議場設備について

豊田市は議場全体のバリアフリーが行われていた。また、現在、聴覚障がい者の議員が在籍しており、本会議中など手話通訳者を議員の前に配置していた。

津市は最前列および演台のバリアフリーが行われていた。また、個別マイクや大型モニターの設置を行っていた。豊田市・津市は共に大型モニターや個別マイクについて、今後設置や運用について研究を重ねており、本市もその動向を注視したい。

三重県津市

愛知県豊田市

## 佐賀市南北軸の公共交通の強化を

**問** コンパクトシティを目指す本市において拠点区域を結ぶ南北軸の公共交通網の強化が必要と考えるが①旧佐賀線跡を利用した BRT を検討してはどうか②富士大和温泉病院を起点に同じく佐賀空港までの BRT を検討してはどうか。

**答** ①立地適正化計画では市中心部と諸富支所周辺を公共交通で結び、利便性向上を図ることは重要と考えているが、並行している国道 208 号には市営バス、西鉄バスが運行され、拠点間の公共交通は確保されており、BRT 導入は困難と考える②佐賀空港の物流拠点化で公共交通ネットワーク強化は重要となる。また、バス利用者増とそれに対応する輸送力確保も必要。今後の南部地域開発等に応じたネットワーク強化は必要であり、交通事業者等と協議していくことになる。

日田彦山線で運営が開始された BRT

(自民さが) みやざき たけし  
宮崎 健 24

## 子育て支援の充実で人口減少対策を

**問** 本市は合併後に人口が約 8 千人減少しており、川副町が 3027 人と最も減少。一方福岡市は年間 1 万 3 千人増加している。本市は人口減少対策として、給食費や第二子以降の保育料の無償化など、子育て支援に重点を置いた大胆な政策を断行すべきではないか。

**答** 少子化問題も重要な課題であり、人口減少への対応は本市の現状を分析し、世代ごとに人口流出を抑える取り組みが重要と考え、今から何をすべきかを全庁的に検討を進めている。来たるべき人口減少社会への対応は最重要課題の一つであるという認識を持ちながら、未来に向けて総合計画の検討を行う中で、効果的で実効性のある施策に全力を挙げて取り組みたい。

市の人口減少は喫緊の問題です！

※ 3 BRT(Bus Rapid Transit)…走行空間、車両、運行管理等に様々な工夫をすることで、速達性、定時性、輸送力について、従来のバスよりも高度な性能を発揮し、他の交通機関との接続性を高めるなど利用者に高い利便性を提供する次世代のバスシステム

(自民清流) ひらばる よしのり  
平原 嘉徳 25

# 本会議を傍聴 してみませんか？

どなたでも本会議を傍聴することができます。市議会ホームページで会議の日程をご確認の上、お越しください。たくさんの方の傍聴をお待ちしています。

詳しくはこちら↓



## ～傍聴の流れ～



市役所（本庁舎）東側玄関のスロープの先に傍聴専用のエレベーターがあります。



エレベーターで2階に上がります。



議会で配付される資料です。ご自由にお取りください。



受付用紙を準備しています（任意記入）。難聴の方には、赤外線補聴器の貸し出しを行っています。

傍聴用の階段を上り、傍聴スタート！

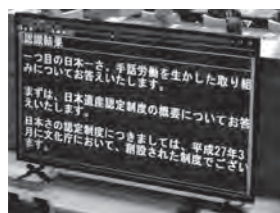


途中からの傍聴、退出もできます。

お車でお越しの方は、駐車券の無料処理もお忘れなく！



### 文字情報モニター



耳が不自由な方の本会議傍聴の支援を目的として、発言内容を文字で表示する文字情報モニターを設置しています。

### 議場内エレベーター



議場内にエレベーターを設置しています。車いすの方、足の不自由な方は、職員が傍聴席へご案内します。備え付けの電話でご連絡ください。



閉会中の議場見学につきましては、議会事務局までご相談ください。(TEL 0952-40-7310)

## 特別委員会が新たに2つできました！

### 佐賀市議会の新しい構成

議長 山口 弘展  
副議長 松永 幹哉  
議会選出監査委員 中野 茂康

### 常任委員会

常任委員会は主に、定例会で上程された議案のうち、それぞれの所管に応じて付託されたものを審議します。

#### 経済産業委員会

委員長 川副龍之介（自民さが）  
副委員長 西岡 真一（自民清流）  
委員 江口 善己（ネットワーク佐賀）  
// 諸富八千代（自民政進会）  
// 久米 勝也（ネットワーク佐賀）  
// 村岡 卓（公明党）  
// 千綿 正明（自民さが）  
// 川原田裕明（緑楠自民）  
// 中野 茂康（緑楠自民）

#### 総務委員会

委員長 永淵 史孝（自民政進会）  
副委員長 江原 新子（自民さが）  
委員 中島 妙子（公明党）  
// 藤田 佳典（ネットワーク佐賀）  
// 川崎 健二（自民さが）  
// 松永 幹哉（自民さが）  
// 平原 嘉徳（自民清流）  
// 福井 章司（自民政進会）  
// 重田 音彦（緑楠自民）

#### 建設環境委員会

委員長 実松 尊信（緑楠自民）  
副委員長 御厨 洋行（自民清流）  
委員 山田誠一郎（ネットワーク佐賀）  
// 宮崎 健（自民さが）  
// 野中 宣明（公明党）  
// 黒田 利人（緑楠自民）  
// 嘉村 弘和（自民政進会）  
// 西岡 義広（自民さが）

#### 福祉教育委員会

委員長 松永 憲明（ネットワーク佐賀）  
副委員長 中村 宏志（公明党）  
委員 稲葉 高広（自民さが）  
// 富永 明美（ネットワーク佐賀）  
// 重松 徹（自民清流）  
// 江頭 弘美（自民さが）  
// 堤 正之（自民政進会）  
// 山口 弘展（緑楠自民）  
// 山下 明子（市民共同）

### 議会運営委員会

委員長 重田 音彦  
副委員長 川副龍之介  
委員 西岡 真一  
// 江原 新子  
// 富永 明美  
// 久米 勝也  
// 中村 宏志  
// 実松 尊信  
// 江頭 弘美  
// 堤 正之

### 議会運営等改革検討会

委員長 宮崎 健  
副委員長 富永 明美  
委員 中島 妙子  
// 稲葉 高広  
// 御厨 洋行  
// 久米 勝也  
// 実松 尊信  
// 永淵 史孝  
// 黒田 利人

### 議会広報広聴委員会

委員長 川原田裕明  
副委員長 山田誠一郎  
委員 藤田 佳典  
// 諸富八千代  
// 稲葉 高広  
// 川崎 健二  
// 御厨 洋行  
// 重田 音彦  
// 野中 宣明  
// 山下 明子

### 特別委員会

#### 佐賀空港の自衛隊駐屯地計画に関する調査特別委員会

委員長 黒田 利人  
副委員長 村岡 卓  
委員 江口 善己  
// 江原 新子  
// 松永 憲明  
// 宮崎 健  
// 川副龍之介  
// 平原 嘉徳  
// 堤 正之  
// 福井 章司  
// 川原田裕明

#### 中核市移行に関する調査特別委員会

委員長 江頭 弘美  
副委員長 実松 尊信  
委員 藤田 佳典  
// 諸富八千代  
// 川崎 健二  
// 西岡 真一  
// 久米 勝也  
// 中村 宏志  
// 千綿 正明  
// 中野 茂康  
// 山下 明子

#### 九州新幹線整備に関する調査特別委員会

委員長 野中 宣明  
副委員長 永淵 史孝  
委員 中島 妙子  
// 稲葉 高広  
// 御厨 洋行  
// 富永 明美  
// 山田誠一郎  
// 重松 徹  
// 重田 音彦  
// 嘉村 弘和  
// 西岡 義広





佐賀空港の自衛隊  
駐屯地計画に関する  
調査特別委員会

11月29日(水)開催

〔現地視察〕佐賀空港の自衛隊駐屯地計画に関する調査特別委員会は、陸上自衛隊目達原駐屯地の現地視察を行いました。  
木更津駐屯地から飛来したオスプレイの実機を視察し、機体の特徴等について説明を受け、オスプレイについて理解を深めました。



視察の様子

◎2月定例会のお知らせ  
2月27日(火)  
午前10時開会(予定)

会期日程等については、開会日に正式決定し、ホームページでお知らせします。

新しい議会広報広聴委員会を  
よろしくお願ひします



昨年10月の中間改選から早くも4カ月が経ちました。市議会議員の任期は4年間ですので、任期の折り返し地点を過ぎたところです。

今号から、新しい広報広聴委員会のメンバーで「議会だより」を編集しています。「議会だより」は年4回、定例会後に発行し、市内に全戸配布しています。定例会の議決状況や委員会の審査内容、各議員の一般質問を中心に編集することから、どうしても「堅い」内容になりがちです。それをどう改善し興味を持っていただけるかが、以前からの課題でした。前メンバーから引き継いだ紙面リニューアルの取り組みを進め、より多くの市民の方に読んでいただけるように紙面づくりや広報活動に努めてまいります。

市民の大切な税金がどのように使われているのか、佐賀市の現状や将来についてしっかりした議論が行われているか、議会が市政のチェック機能を十分に果たしているのかなどについて、皆さまに関心を持っていただくことが、佐賀市を良い将来へ導く原動力になると信じています。

「こんな紙面にしてほしい」「この部分をもっと分かりやすくしてほしい」など、この冊子を手に取り読んでくださっているあなたのご意見をお気軽にお聞かせください。

(委員長 川原田裕明)

市議会ホームページのご案内

市議会ホームページでは、議会に関する情報を随時更新しています。

本会議の映像の視聴

本会議中は生中継で、過去の本会議は録画中継でご覧いただけます。本会議は、ぶんぶんテレビでも生放送しています。(開会中10時から最長17時まで)



会議録の検索

平成2年以降の本会議および平成21年以降の常任委員会の会議録を掲載しています。

会議日程、議員名簿、政務活動費、議会だよりなども掲載しています。

Facebookのご案内

Facebookでも、市議会の情報や活動報告をお届けしています。



私が書きました!!  
～表紙題字の作者紹介～

佐賀北高等学校  
芸術科書道専攻 3年  
むらおか はつき  
村岡 初姫さん

【将来の夢】  
書道に携わりながら美容の商品開発、経営者を目指していきたいです。

【題字】  
勢いのある右上がりの線と渴筆を表現することで作品に立体感を出しました。

この冊子は1部あたり14.5円で制作しています。(ただし人件費など間接経費はふくまれていません。)

